

これからの日本はどのような社会をつくったらよいか
日本のこれからの哲学を上野村で語り合おう

「新たな多数派の形成をめざす上野村シンポジウム」

日時 2008年（平成20年）8月9日（土）13時30分より
10日（日）12時まで

場所 群馬県上野村・上野中学体育館

主催 「上野村シンポジウム実行委員会（上野村をはじめとする各団体で構成）」

私たちの社会はゆきづまっている。いま私たちの前に展開しているのは、「勝ち組」、「負け組」などという言葉が乱舞する冷たい社会だ。食料も、原油も、すべてのものが投資対象になり、投機的なお金だけが世界を駆けめぐる。農山村は疲弊し、地方都市も瓦解への道を歩んでいるようにみえる。

どうしたらよいのだろうか。私たちは根本的な問題から考え直さなければならないときに、きているのではないだろうか。

そのような問題意識をもちながら、私たちは「新たな多数派の形成をめざす上野村シンポジウム」を開催します。これからの社会のかたちは、自然と人間が結びあい、人と人が支えあう、そして過去と未来が結ばれている上野村のような地域と都市とを、生命が本来もっている暖かさで結ぶことにこそヒントがあるのだという思いをもつ全国の人々とともに、新しい社会をつくる哲学を探し出していきたいと思ひます。

◆パネリスト予定者（順不同）

- 浅野 大介（経済産業省商品流通グループ課長補佐）
- 池田 章（中小企業基盤整備機構プロジェクトマネージャー）
- 市瀬 美教（「株」大直代表取締役社長）
- 内田 研一（研ぎ師、ビジネスプロデューサー地域資源活用プログラム関東統括PM）
- 大村 春男（丸藤葡萄酒（株）代表取締役社長）
- 岡本 良知（（株）岡本亀太郎本店専務）
- 神津多可思（日本銀行金融機構局審議役）
- 岸本 吉生（経済産業省中小企業庁経営支援部経営支援課長）
- 木村 修（農事組合法人もくもく手づくりファーム社長）
- 木村 乃（神奈川県三浦市理事）
- 出島 二郎（金沢市・マーケットプランナー）
- 手塚 伸（山梨県商工総務課）
- 飛山 龍一（林野庁森林保全推進室長）
- 中井 徳太郎（人事院給与二課長）
- 中川 正次（富山県日本海政策課日本海学班長）
- 長野 麻子（農水省大臣官房情報課企画官）
- 御園 慎一郎（総務省官房審議官）

三宅 曜子 ((株) クリエイティブ・ワイズ代表取締役)
吉澤 保幸 (場所文化フォーラム代表幹事)
吉田 修 (農事組合法人もくもく手づくりファーム専務取締役)
渡辺 浩二 (愛媛県久万高原町商工会指導課課長)

コーディネーター 内山 節 (哲学者・上野村)

後援として農文協 (農山漁村文化協会) が加わります。シンポジウムの内容を雑誌で報道、書籍化することを考えています。また上毛新聞社をはじめとする諸団体の後援をお願いする予定でいます。

<連絡先> 上野村 0274-59-2111 企画財政課 土屋雅彦